

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-3-1		事業名	札幌駅交流拠点再整備構想策定事業			
担当	市民まちづくり局企画部都心まちづくり推進室都心まちづくり課 湊 211-2692						
全体計画							
事業内容	持続的な都市の発展と将来を見据えた道都の玄関口としての拠点性を高めることを目的として、交通結節点機能の見直し・強化とともに、将来の北海道新幹線の札幌駅乗り入れを見据え、北5西1街区を含む札幌駅周辺の再整備構想を策定する。			<年度別の事業内容>			
				平成19年度 札幌駅周辺の課題の整理 平成20年度 再整備の方向性検討(現況・課題の整理、土地利用等) 外部検討委員会設置・運営等 平成21年度 外部検討委員会の運営 (再整備にかかる企画提案公募、事業計画案作成、パブリックコメント実施等) 平成22年度 再整備構想策定			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	平成19年度については、JR北海道との勉強会等を通じ、札幌駅周辺地区の経緯経過把握、今後の進め方検討、周辺交通環境・土地利用の問題・課題把握、バスターミナル再整備検討のための前提条件整理、交通処理上の課題整理を行った。			現況・課題の整理 19年度に引続き、課題の整理を行う。 整備の方向性検討 周辺の土地利用、新幹線駅出入口の設置位置、バスターミナル再整備、南口駅前広場再整備、路面電車延伸時の対応等について、方向性を検討する。 交通調査 札幌駅周辺交通の課題解決や再整備にあわせた円滑な交通処理を実現するため、整備プランに対する歩行者、自動車の将来交通動向予測を行い、交通面での効果の把握と再整備の方向性を検証する。 構想案策定委員会運営 現状課題と再整備の方向性を踏まえ、学識経験者等からなる構想案策定委員会を設置、運営する。			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
札幌駅交流拠点再整備構想の策定		-	検討	検討	検討	検討	策定
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力]JR北海道との情報共有を行う。 [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-3-1	事業名	札幌駅交流拠点再整備構想策定事業			
評価(成果)			課題			
平成19年度については、JR北海道との勉強会等を通じ、札幌駅周辺地区の課題整理や、今後の検討の進め方の確認、交通動線検討などを通じ、翌年度以降進めるべき検討の方向性を明らかにした。			北海道新幹線延伸、駅前通地下歩行空間、創成川通のアンダーパス化、路面電車の延伸・活用検討等、札幌駅周辺に係る重要な事業がそれぞれ動いている中、それらを整合・連携したうえで、周辺地権者との調整の中で、老朽施設や交通課題の解決に取り組む必要がある。			
今後の事業の予定・方向						
平成22年度に再整備構想を策定するため、詳細な現況調査を実施するとともに、構想案作成を行う外部検討委員会の運営などを行う。						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	0	8,000	10,000	4,000	22,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	4,000	5,000	0	9,000
	市債	0	0	0	0	0
予算	事業費	0	8,000	-	-	8,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	4,000			4,000
	市債	0	0			0
実績	事業費	2,835	-	-	-	2,835
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				49.3%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						